# 立教学院 2022 年度決算について

# （説明資料）

立教学院は、2023 年 5 月 26 日の理事会において 2022 年度決算が承認されたことを受け、ホームページにおいて決算資料を公表しました。
財務部では、これらの決算資料の概要を説明し、本学院の財政状況を分かりやすく示すことを目的として本資料を作成しました。
決算資料と併せてご覧いただくことで、より多くの方々に本学院の財政状況をご理解いただきたいと考えています。

決算資料公表 URL　https://www.rikkyogakuin.jp/disclosure/reports/

＊各計算書および図において、単位未満を端数処理しているため、合計等に差異が生じている場合があります。

立教学院財務部

# 1　事業活動収支計算書

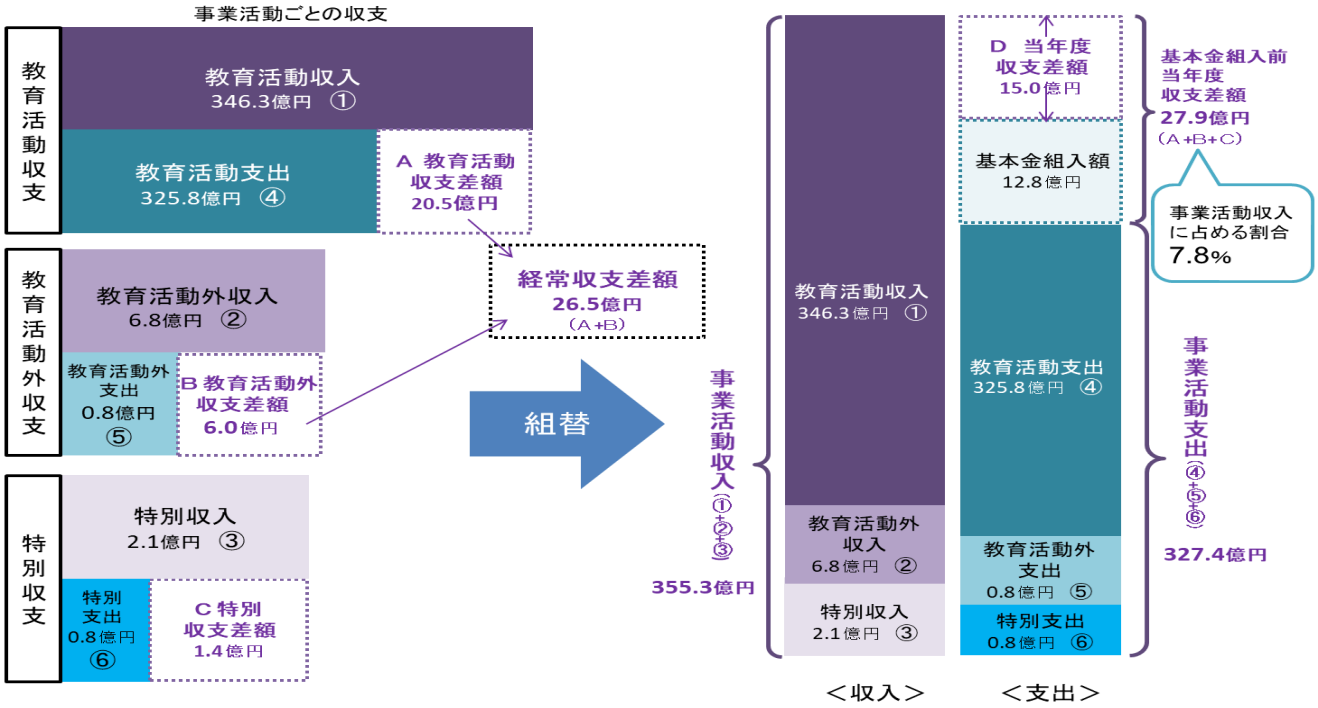
事業活動収支計算書とは、「教育活動収支」「教育活動外収支」「特別収支」の３つの事業活動に分けて、当該会計年度の事業活動収入および事業活動支出の内容を明らかにするとともに、収支の均衡状態を示すものです。
「教育活動収支」と「教育活動外収支」では経常的な活動による収支状況を表し、臨時的な収支については「特別収支」で表します。

新型コロナウイルス感染症の長期化を受けて、移動や宿泊を伴う国内外のプログラムのオンライン開催への切り替えや中止が発生し、教育研究経費、管理経費が予算比で減少しました。一方で、年度途中から、新型コロナウイルス感染症の影響が収まりつつあることを受けて、一部の留学、サービスラーニング、ゼミ合宿といった国内外のプログラムが再開され、国際化推進等を目的とした出張も増加しました。その結果、決算比では、旅費交通費（前年比 3.0 億円増）、委託費（前年比 5.8 億円増）が大幅に増加しました。また、エネルギー価格の高騰の影響で、光熱水費は予算比、決算比とも大幅に増加しました。教育活動支出は予算比では 8.6 億円減少したものの、決算比では 14.4 億円増加しました。

収入面では、学生生徒等納付金、手数料が予算比で減少した一方、立教学院創立 150 周年記念募金等による寄付金の増加、経常費等補助金の増加、受託事業収入の増加により、教育活動収入は予算比で 0.6 億円増加しました。その結果、教育活動収支差額は 20.5 億円のプラスとなりました。受取利息・配当金の増加（前年比 0.4 億円増）、主に教室貸出の増加に伴う収益事業収入の増加（予算比 0.2 億円増）により、教育活動外収支差額は 6.0 億円のプラスとなり、これら二つの収支差額を合計した経常収支差額は 26.5 億円のプラスとなりました。

施設設備補助金、現物寄付の増加により特別収支差額は 1.4 億円のプラスとなり、以上の結果、基本金組入前当年度収支差額はプラス 27.9 億円、事業活動収支差額比率は 7.8%となりました。

図1　事業活動収支計算書の構成　概要



# 事業活動収支計算書

## ■教育活動収支

（単位：千円）

| 科　目 | 予　算 | 決　算 | 差異（△印超過） |
|---|---|---|---|
| 学生生徒等納付金 | 27,601,437 | 27,333,339 | 268,098 |
| 手数料 | 2,145,029 | 2,004,188 | 140,841 |
| 寄付金 | 756,743 | 1,004,917 | △ 248,174 |
| 経常費等補助金 | 3,198,898 | 3,309,375 | △ 110,477 |
| 付随事業収入 | 221,992 | 291,805 | △ 69,813 |
| 雑収入 | 641,858 | 687,305 | △ 45,447 |
| 教育活動収入計 | 34,565,957 | 34,630,929 | △ 64,972 |
| 人件費 | 18,229,344 | 17,936,291 | 293,053 |
| 教育研究経費 | 13,330,543 | 12,855,992 | 474,551 |
| 管理経費 | 1,875,301 | 1,786,060 | 89,241 |
| 徴収不能額等 | 0 | 1,376 | △ 1,376 |
| 教育活動支出計 | 33,435,188 | 32,579,719 | 855,469 |
| 教育活動収支差額 | 1,130,769 | 2,051,209 | △ 920,440 |

経常的な収支のうち、本業である教育研究活動に関する区分です。

施設・設備のための寄付金、現物寄付以外の寄付金です。

施設・設備のための補助金以外の補助金です。

減価償却額等を含む教育研究に係る経費の合計です。

減価償却額等を含む法人業務や学生募集等に係る経費の合計です。

## ■教育活動外収支

| 科　目 | 予　算 | 決　算 | 差異（△印超過） |
|---|---|---|---|
| 受取利息・配当金 | 413,277 | 480,368 | △ 67,091 |
| その他の教育活動外収入 | 180,000 | 200,000 | △ 20,000 |
| 教育活動外収入計 | 593,277 | 680,368 | △ 87,091 |
| 借入金等利息 | 80,602 | 80,601 | 1 |
| その他教育活動外支出 | 0 | 0 | 0 |
| 教育活動外支出計 | 80,602 | 80,601 | 1 |
| 教育活動外収支差額 | 512,675 | 599,767 | △ 87,092 |
| 経常収支差額 | 1,643,444 | 2,650,977 | △ 1,007,533 |

経常的な収支のうち、財務活動に関する区分です。

収益事業収入等、学校法人の教育研究活動以外の活動による収入です。

経常的な事業活動による収支差額です。（教育活動収支差額＋教育活動外収支差額）

## ■特別収支

| 科　目 | 予　算 | 決　算 | 差異（△印超過） |
|---|---|---|---|
| 資産売却差額 | 0 | 69,074 | △ 69,074 |
| その他の特別収入 | 35,442 | 145,270 | △ 109,828 |
| 特別収入計 | 35,442 | 214,344 | △ 178,902 |
| 資産処分差額 | 9,020 | 76,357 | △ 67,337 |
| その他の特別支出 | 1,815 | 2,836 | △ 1,021 |
| 特別支出計 | 10,835 | 79,193 | △ 68,358 |
| 特別収支差額 | 24,607 | 135,151 | △ 110,544 |
| [予備費] | (191,969)<br>133,031 | | 133,031 |
| 基本金組入前当年度収支差額 | 1,535,020 | 2,786,128 | △ 1,251,108 |
| 基本金組入額合計 | △ 1,542,666 | △ 1,282,173 | △ 260,493 |
| 当年度収支差額 | △ 7,646 | 1,503,955 | △ 1,511,601 |
| 前年度繰越収支差額 | △ 11,532,051 | △ 11,532,051 | 0 |
| 基本金取崩額 | 0 | 0 | 0 |
| 翌年度繰越収支差額 | △ 11,539,697 | △ 10,028,096 | △ 1,511,601 |
| （参考） | | | |
| 事業活動収入計 | 35,194,676 | 35,525,640 | △ 330,964 |
| 事業活動支出計 | 33,659,656 | 32,739,512 | 920,144 |

※千円未満四捨五入

一時的に発生した臨時的な収支に関する区分です。

固定資産や有価証券の売却益等、資産の売却に伴う費用です。

施設・設備のための寄付金、現物寄付、補助金等です。

固定資産の除却や有価証券の売却損等、資産の処分に伴う費用です。

経常収支差額と特別収支差額の合計で、当該年度全体の収支差額です。

当該年度の支出額のうち、学校法人を維持するために必要な資産を継続的に保持するための組入れ額です。

# 2　資金収支計算書

資金収支計算書とは、当該会計年度の諸活動に対応するすべての資金の収入および支出の内容と、支払資金の収入および支出についてその顛末を明らかにするものです。

新型コロナウイルス感染症の長期化により、教育研究経費支出、管理経費支出は予算比で減少しました。一方で、一部の留学、サービスラーニング、ゼミ合宿といった国内外のプログラムが再開され、これらに必要な支出を行った他、スポーツウエルネス学部・研究科設置とコミュニティ福祉学部・研究科再編に伴う教育研究施設整備（主に研究室、実験施設等の整備）、電気設備更新、グラウンド改修工事（人工芝張替）、体育館空調設備設置工事など、教育研究施設設備の維持・更新を行いました。

また、一部の国内外のプログラムのオンライン開催への切替や中止等により学生生徒等納付金収入が予算比で減少した一方、寄付金収入（2.0 億円増）、補助金収入（1.3 億円増）、受託事業収入（0.9 億円増）が増加しました。施設関係支出は、執行段階での競争原理・折衝効果もあり予算比で 1.7 億円減少しました。資産運用支出（各種特定資産の積み増し）は予算比で 4.2 億円増加しました。その結果、翌年度繰越支払資金は 54.5 億円（前年度比 0.3 億円増）となりました。

## 資金収支計算書

■収入の部　（単位：千円）

| 科　目 | 予　算 | 決　算 | 差異（△印超過） |
|---|---|---|---|
| ●学生生徒等納付金収入 | 27,601,437 | 27,333,339 | 268,098 |
| ●手数料収入 | 2,145,029 | 2,004,188 | 140,841 |
| 寄付金収入 | 764,743 | 969,300 | △ 204,557 |
| ●補助金収入 | 3,226,340 | 3,359,872 | △ 133,532 |
| 資産売却収入 | 0 | 153,814 | △ 153,814 |
| ●付随事業・収益事業収入 | 401,992 | 491,805 | △ 89,813 |
| 受取利息・配当金収入 | 413,277 | 480,368 | △ 67,091 |
| ●雑収入 | 641,858 | 679,925 | △ 38,067 |
| 借入金等収入 | 0 | 0 | 0 |
| ●前受金収入 | 4,969,178 | 4,977,164 | △ 7,986 |
| ●その他の収入 | 1,410,857 | 1,058,048 | 352,809 |
| ●資金収入調整勘定 | △ 5,270,986 | △ 5,448,392 | 177,406 |
| 前年度繰越支払資金 | 5,417,408 | 5,417,408 | ― |
| 収入の部合計 | 41,721,133 | 41,476,839 | 244,294 |

- 大学・高等学校・中学校・小学校において納入された学費です。
- 主に入学試験の検定料や証明書の発行手数料です。
- 私立大学等経常費補助金を始めとする国・地方公共団体からの補助金です。
- 受託研究や収益事業等による収入です。
- 主に私立大学退職金財団からの交付金や、学校法人の施設貸し出しによる施設設備利用料収入です。
- 入学手続きをした翌年度の新入生から受け入れた授業料や入学金です。
- 主に特定資産の取り崩し収入や前年度末に未収入金となった補助金等の入金額です。
- 当該年度に受け入れることができなかった収入（期末未収入金）と、前年度にあらかじめ受け入れていた当該年度の活動に関する収入（前期末前受金）です。

■支出の部

| 科　目 | 予　算 | 決　算 | 差異（△印超過） |
|---|---|---|---|
| ●人件費支出 | 18,153,169 | 17,916,271 | 236,898 |
| ●教育研究経費支出 | 10,946,484 | 10,424,490 | 521,994 |
| ●管理経費支出 | 1,751,170 | 1,661,454 | 89,716 |
| 借入金等利息支出 | 80,602 | 80,601 | 1 |
| 借入金等返済支出 | 568,012 | 568,012 | 0 |
| ●施設関係支出 | 744,307 | 575,851 | 168,456 |
| ●設備関係支出 | 418,839 | 419,683 | △ 844 |
| ●資産運用支出 | 4,110,303 | 4,532,855 | △ 422,552 |
| ●その他の支出 | 412,189 | 452,919 | △ 40,730 |
| [予備費] | (216,544)<br>108,456 | | 108,456 |
| ●資金支出調整勘定 | △ 404,197 | △ 600,636 | 196,439 |
| 翌年度繰越支払資金 | 4,831,799 | 5,445,339 | △ 613,540 |
| 支出の部合計 | 41,721,133 | 41,476,839 | 244,294 |

※千円未満四捨五入

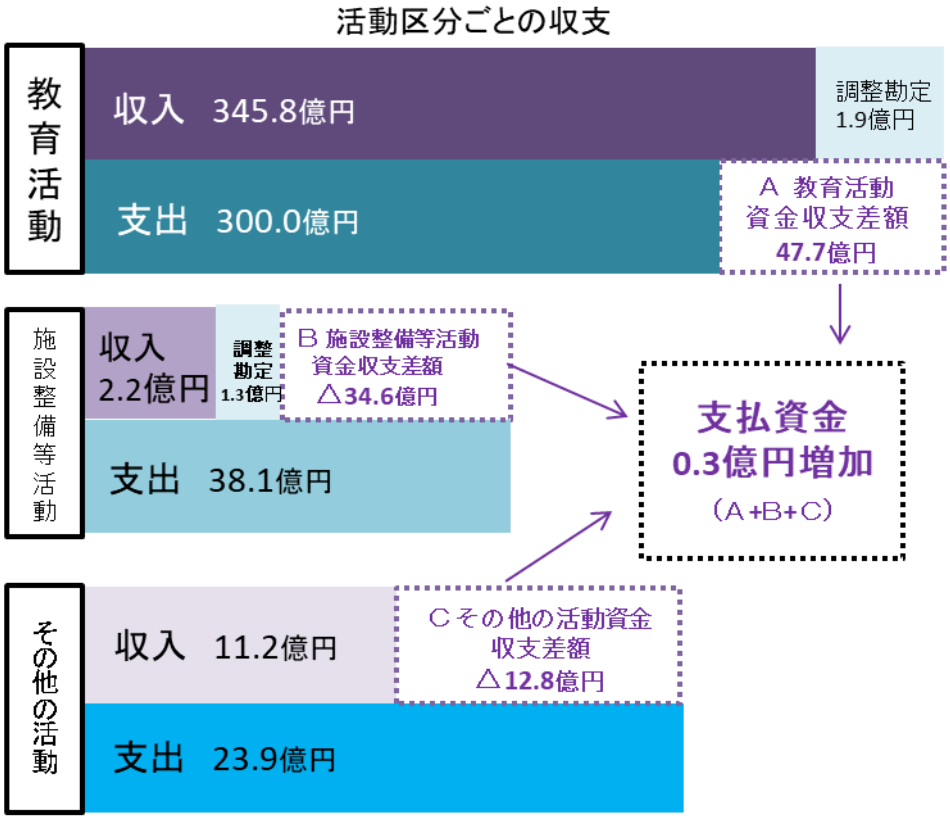
- 教職員の人件費に係る支出です。
- 教育研究に係る支出です。
- 法人業務や学生募集等に係る支出です。
- 土地、建物等に係る支出です。
- 機器備品、図書等に係る支出です。
- 将来の支出に備えるための各特定資産への積み増しです。
- 前年度末に未払いとなっていた経費を支払ったこと等による支出です。
- 当該年度に支払うことができなかった支出（期末未払金）と、前年度にあらかじめ支払っていた当該年度の活動に関する支出（前期末前払金）です。

# ３　活動区分資金収支計算書

活動区分資金収支計算書とは、資金収支計算書を「教育活動」、「施設整備等活動」、「その他の活動」の３つの活動区分に分けて、活動区分ごとの資金の流れを把握するものです。

教育活動による資金収支は 47.7 億円のプラスになりました。施設整備等活動による資金収支は、当期にスポーツウエルネス学部・研究科設置とコミュニティ福祉学部・研究科再編に伴う教育研究施設整備やグラウンド改修工事等を行った他、将来の施設設備の整備に向けて特定資産の積極的な積み増しを行ったため、34.6 億円のマイナスとなりました。その他の活動による資金収支も、財政基盤強化のための特定目的資産の積み増しを行ったため 12.8 億円のマイナスとなりました。以上の結果、翌年度繰越支払資金は前年度比 0.3 億円増加しました。

図2　活動区分資金収支計算書の構成　概要



# 活動区分資金収支計算書

いわゆる“学校法人の本業”で、キャッシュフローベースでの採算がどの程度確保できたかを明らかにする区分です。

## ■教育活動による資金収支

（単位：千円）

| 科　目 | 金　額 |
|---|---|
| 学生生徒等納付金収入 | 27,333,339 |
| 手数料収入 | 2,004,188 |
| 特別寄付金収入 | 653,565 |
| 一般寄付金収入 | 307,227 |
| 経常費等補助金収入 | 3,309,375 |
| 付随事業収入 | 291,805 |
| 雑収入 | 679,925 |
| 教育活動資金収入計 | 34,579,423 |
| 人件費支出 | 17,916,271 |
| 教育研究経費支出 | 10,424,490 |
| 管理経費支出 | 1,659,346 |
| 教育活動資金支出計 | 30,000,107 |
| 差引 | 4,579,316 |
| 調整勘定等 | 191,460 |
| 教育活動資金収支差額 | 4,770,776 |

土地や建物の購入・建設のための施設関係支出や、備品等を購入するための設備関係支出、それらの財源になる寄付金、補助金、特定資産に関する区分です。

## ■施設整備等活動による資金収支

| 科　目 | 金　額 |
|---|---|
| 施設設備寄付金収入 | 8,508 |
| 施設設備補助金収入 | 50,498 |
| 施設設備売却収入 | 0 |
| 建設資金引当特定資産取崩収入 | 161,141 |
| 施設整備等活動資金収入計 | 220,147 |
| 施設関係支出 | 575,851 |
| 設備関係支出 | 419,683 |
| 減価償却引当特定資産繰入支出 | 533,347 |
| 建設資金引当特定資産繰入支出 | 2,285,913 |
| 施設整備等活動資金支出計 | 3,814,794 |
| 差引 | △ 3,594,647 |
| 調整勘定等 | 131,097 |
| 施設整備等活動資金収支差額 | △ 3,463,550 |

経常的な活動による資金収支差額です。

| | |
|---|---|
| 小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額） | 1,307,225 |

借入金、貸付金、資産運用等の主に財務活動に関する区分です。

## ■その他の活動による資金収支

| 科　目 | 金　額 |
|---|---|
| 特定目的引当特定資産取崩収入 | 250,388 |
| 貸付金回収収入 | 32,822 |
| その他 | 153,948 |
| 小計 | 437,159 |
| 受取利息・配当金収入 | 480,368 |
| 収益事業収入 | 200,000 |
| その他の活動資金収入計 | 1,117,527 |
| 借入金等返済支出 | 568,012 |
| 第3号基本金引当特定資産繰入支出 | 70,000 |
| 退職給与引当特定資産繰入支出 | 54,881 |
| 特定目的引当資産繰入支出 | 1,588,715 |
| 特許権支出 | 58 |
| その他 | 30,609 |
| 小計 | 2,312,273 |
| 借入金等利息支出 | 80,601 |
| 過年度修正支出 | 2,108 |
| その他の活動資金支出計 | 2,394,982 |
| 差引 | △ 1,277,455 |
| 調整勘定等 | △ 1,840 |
| その他の活動資金収支差額 | △ 1,279,294 |

| | |
|---|---|
| 支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額） | 27,931 |
| 前年度繰越支払資金 | 5,417,408 |
| 翌年度繰越支払資金 | 5,445,339 |

※千円未満四捨五入

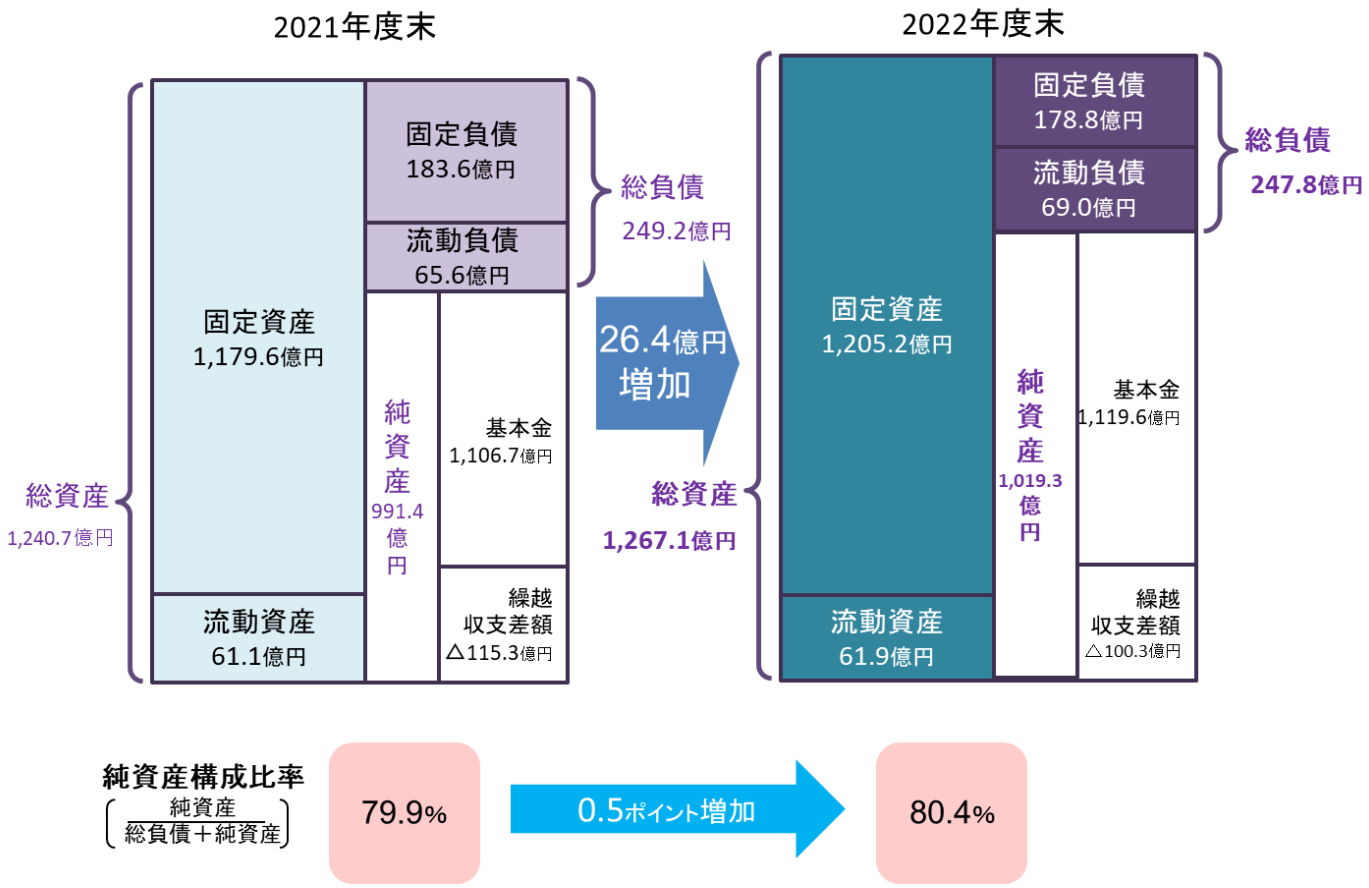
# 4　貸借対照表

貸借対照表とは、一定時点（３月末現在）における財産の状況を明らかにするものです。

有形固定資産のうち、土地はキャンパス隣接不動産を取得したことにより増加し、建物は減価償却の進行等により減少しています。特定資産は、今後の新たな教学展開やそれを支える施設整備に必要な投資財源の確保に向け、積極的な積み増しを行ったことにより 40.8 億円増加し、628.8 億円となりました。固定負債は、主に借入金の返済により 4.9 億円減少し、178.8 億円となりました。純資産は 27.9 億円増加し、1,019.3 億円となりました。

また、長期的に財政状態が安定しているかを測る指標に「純資産構成比率」があり、数値が高いほど、必要な資産を自力で調達していることを表し、財政的に安定していることを示します。本学院の同比率は 80.4%とここ数年増加傾向にあり、健全性が高まっているといえます。（財務比率については「立教学院決算経年推移資料（2018 年度～2022 年度）」もご参照ください。）

図3　貸借対照表の構成　概要



## 貸借対照表

■資産の部　（単位：千円）

| 科　目 | 2022年度末 | 2021年度末 | 増　減 |
|---|---|---|---|
| 固定資産 | 120,522,747 | 117,956,181 | 2,566,566 |
| 有形固定資産 | 55,323,365 | 56,804,019 | △ 1,480,654 |
| 土地 | 7,003,199 | 6,971,855 | 31,344 |
| 建物 | 34,398,341 | 35,977,852 | △ 1,579,511 |
| その他 | 13,921,825 | 13,854,313 | 67,511 |
| 特定資産 | 62,883,687 | 58,799,418 | 4,084,269 |
| 第3号基本金引当特定資産 | 3,178,526 | 3,108,526 | 70,000 |
| 退職給与引当特定資産 | 7,414,364 | 7,359,483 | 54,881 |
| 減価償却引当特定資産 | 7,012,076 | 6,478,729 | 533,347 |
| 建設資金引当特定資産 | 15,999,990 | 13,875,218 | 2,124,772 |
| その他 | 29,278,731 | 27,977,461 | 1,301,270 |
| その他の固定資産 | 2,315,696 | 2,352,744 | △ 37,048 |
| 有価証券 | 15,000 | 15,000 | 0 |
| 長期貸付金 | 2,236,684 | 2,267,203 | △ 30,519 |
| その他 | 64,012 | 70,541 | △ 6,529 |
| 流動資産 | 6,185,883 | 6,110,071 | 75,812 |
| 現金預金 | 5,445,339 | 5,417,408 | 27,931 |
| その他 | 740,544 | 692,662 | 47,881 |
| 資産の部合計 | 126,708,630 | 124,066,252 | 2,642,378 |

使途が特定された預金等の額です。

特定資産に該当しない無形固定資産等(有価証券、奨学貸付金等)の額です。

■負債の部

| 科　目 | 2022年度末 | 2021年度末 | 増　減 |
|---|---|---|---|
| 固定負債 | 17,879,238 | 18,364,291 | △ 485,054 |
| 長期借入金 | 4,292,760 | 4,860,777 | △ 568,017 |
| 退職給与引当金 | 6,974,562 | 6,954,542 | 20,020 |
| その他 | 6,611,916 | 6,548,973 | 62,943 |
| 流動負債 | 6,901,355 | 6,560,050 | 341,304 |
| 短期借入金 | 568,017 | 568,012 | 6 |
| 未払金 | 554,436 | 412,778 | 141,658 |
| 前受金 | 4,977,164 | 4,747,857 | 229,306 |
| その他 | 801,738 | 831,403 | △ 29,665 |
| 負債の部合計 | 24,780,592 | 24,924,342 | △ 143,749 |

■純資産の部

| 科　目 | 2022年度末 | 2021年度末 | 増　減 |
|---|---|---|---|
| 基本金 | 111,956,134 | 110,673,961 | 1,282,173 |
| 第1号基本金 | 106,459,567 | 105,247,394 | 1,212,173 |
| 第3号基本金 | 3,178,526 | 3,108,526 | 70,000 |
| 第4号基本金 | 2,318,041 | 2,318,041 | 0 |
| 繰越収支差額 | △ 10,028,096 | △ 11,532,051 | 1,503,955 |
| 翌年度繰越収支差額 | △ 10,028,096 | △ 11,532,051 | 1,503,955 |
| 純資産の部合計 | 101,928,038 | 99,141,910 | 2,786,128 |

基本金とは、学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、その事業活動収入のうちから組み入れられた金額です。

自己資金で取得した、教育研究に必要な固定資産（土地、建物、備品、図書等）の額です。

奨学基金等、基金として継続的に保持し、運用する資産の額です。

最低限保持すべき約1カ月の運転資金に相当する額です。

| 科　目 | 2022年度末 | 2021年度末 | 増　減 |
|---|---|---|---|
| 負債及び純資産の部合計 | 126,708,630 | 124,066,252 | 2,642,379 |

※千円未満四捨五入

# おわりに

以上のとおり、2022 年度も新型コロナウイルス感染症の影響は続きましたが、感染症対策に十分配慮した上で、対面授業、海外プログラム等を再開し、オンラインによる授業や課外活動等を組み合わせて、状況に応じた教育・研究活動を積極的に展開してまいりました。

本学院は 2024 年度に創立 150 周年を迎えます。150 年という節目の年に向けて、「学校教育の進化」「一貫連携教育の進化」を教育テーマに掲げ、オール学院で質の高い教育研究活動を維持し発展させていくため、引き続き適切な財政運営に努めていきたいと考えています。

以上